

平成30年度第1回大阪府都市計画審議会常務委員会《要旨》

- 日 時 平成30年10月1日（月） 13：00～14：00
- 場 所 大阪府庁別館7階都市計画室分室
- 議 事 (1)「都市計画公園のあり方」の検討経過について
(2)最終報告（案）
- 出席委員 加我委員、嘉名委員、井原委員、滋野委員、塚口委員長
- 事務局 都市整備部都市計画室長 ほか

○議 事

加我委員

本日は、2月に予定されている都市計画審議会での最終報告（案）として、基本方針や具体的な取組方策などを整理したので、ご意見を伺いたい。

2. 議事

＜資料1～2事務局説明＞

滋野委員

これまでの意見が反映されていて、よく整理されている。基本理念では「みどりのネットワーク拠点」との記載があるが、基本方針や具体的な取組方策として、そういった記載が入ってもよいかと思う。

事務局

基本方針がそれぞれ相乗効果を発現することによって、府営公園が「みどりのネットワーク拠点」として機能し、みどりに対する意識の高まりや、住民のみどりの行動の推進などで周辺地域に波及し、みどりのネットワーク形成に寄与するものと考えている。

加我委員

「みどりのネットワーク拠点」となるために各基本方針がどうあるべきかについてそれぞれ記載しており、各基本方針を推進することで各上位計画を実現するという整理をしている。

塚口委員長

全体的によくまとまっている。基本理念で「多様な個性で都市の活力と魅力を高める府民共有の資産」を中間報告から追加されたことは妥当なことで、より打ち出していけばよい。基本方針⑦の「公園以外の専門家との連携」については重要なことで、連携することによって、クロスセクション効果やオプション効果を期待できる。

加我委員

基本方針②民間活力の導入、基本方針③地域社会への貢献が現在強く求められているが、基本方針④安全安心快適、⑤府民の命を守る、⑥自然環境の重要性をアピールすることも必要なことであり、整理の仕方は部会において良く議論したところ。

嘉名委員

全体として良くまとまっている。現在、各自治体が立地適正化計画に基づき、都市構造の再編が行われている状況で、府営公園の役割も変わるため、そこにしっかり対応していくべき。万博記念公園のレガシーのような、「20番目の府営公園を目指します」などの含みを持たせても良かったのではないかと。人口減少に伴い増加する空地の適正管理について、公園で培ったノウハウが重要になるので、大いに期待している。空地マネジメントに係る人材育成も頑張ってもらいたい。

加我委員

天王寺公園や万博記念公園、鶴見緑地はそれぞれレガシーを継承しつつあり、今回次の都市イベントを踏まえた記載をすることも検討したが、府営公園の意義である「各時代の様々な社会要請を先導的に受け入れ、都市・まちづくりを牽引すること。」という形で含みを持たせていただいた。この考え方を受け、都市・まちづくりの課題であることを見据えていくことが重要。人口減少によって管理放棄される土地について、財政状況を鑑みると強く打ち出すことは難しいが、人材育成については、少し触れさせてもらっている。

加我委員

営造物公園だけでなく、地域制緑地も含めて検討していければいい。

嘉名委員

バルセロナやセビージャなど万博を契機に都市の形を変えていっている例もあり、21世紀の前半府営公園はどうなっていくかを示せばいいと思う。持続可能性はベースとなるが、都市の顔、風格を高める、活力がキーワードになってくると思う。

塚口委員長

利用料金の設定について、条例改正は大変なので、もう少し融通の利いた変更ができればいい。

加我委員

本日いただいた意見を踏まえ、2月予定の大阪府都市計画審議会最終報告を行う。これで第1回常務委員会を終了する。